

1. 国民の祝日には国旗をかかげよう
2. 交通規則を正しく守ろう
3. 明るく正しい選挙を実現しよう
4. 小さな親切を広めよう
5. 小さな暴力でも追放しよう
6. 定められた時間は必ず守ろう
7. 環境の美化につとめましょう

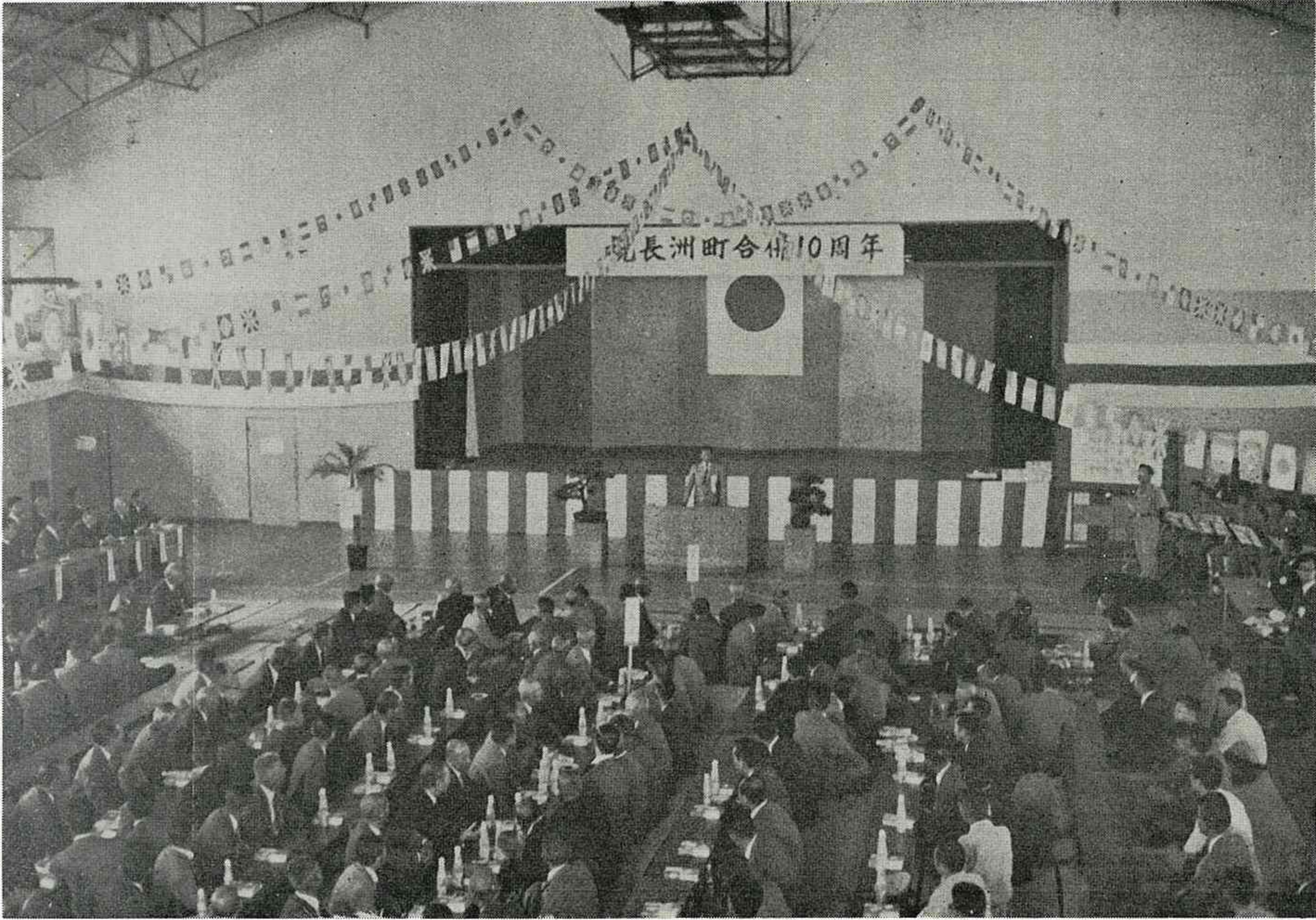
ながさ

NAGASU

11月号
昭和42年11月25日発行
通算第48号

発行人 長洲町中央公民館
発行人 浮島三代喜
編集者 広報長洲編集部
印刷所 中央印刷紙工KK

出生 29名	男 18名	女 11名
死亡 10名	男 5名	女 5名
転入 36名	男 18名	女 18名
転出 60名	男 26名	女 34名
世帯数 3,454		
人口 15,397名		



合併十周年式典 (於長洲中体育館)

合併十周年式典 盛會裡に終了

功勞者四十七名表彰

去る十月一日は、旧腹菜村と旧長洲町が合併して、新しい長洲町が誕生してから満十年に当たります。この記念行事については本紙九月号でお知らせした通り十月三日午前十時から町内外三百余名の方を御案内申上げ、長洲中学校体育館でその記念式が執り行われた。先づ中山議会議長の開式の辞、奏する樂の音に和して全員起立、寺本知事の祝辞朗読をはじめ、国歌斉唱続いて中逸町長の式辞、米宮の祝辞があり、終つて各種

功勞者及び永年勤続公職者の表彰が行われた。そして二十分程度の自衛隊音楽隊の演奏があり、最後に江上県玉名事務所長の音頭で萬歳を三唱福本助役の閉式の辞で厳肅盛會裡に式を終つた尚当日の被表彰者は次の通りであった。

自治功勞		消防功勞		教育功勞		青少年教育功勞		福祉功勞		建設事業功勞		農業団体功勞		漁業団体功勞		篤志功勞		永年勤続公職者											
寺田喜次郎	大石 正行	内野喜次郎	長嶺 朝良	田宮 貞秋	守屋 勲	高松 貞孝	石井 実	西原 藤市	井上 一馬	中山 正賢	浦田 正行	福永 一実	宮路 利行	大川 喜明	西辻 深次	荒木 勝	林田 賢	用木 温知	浦島 哲夫	西岡 天祐	黒田 健児	永原 幹夫	渡辺 広介	添島 義正	島田 新一	寺本龍之助	山本 巖		
上田 浩	秋富 藤蔵	福浦 政雄	池上 春実	福田 喜一	岩下 惟朝	岩田 久男	橋口 武幸	竹下 武幸	豊福 芳人	馬場 好孝	木村 好孝	中尾 義雄	吉田 典太	野寺サトエ	中島 正美	谷川アキエ													

町政日記

- ◇11・1 中体連秋季大会
- ◇11・2 金魚、鯉贈呈式
- ◇11・5 日赤創立90周年記念九州7県支部連合大会
- ◇11・6 郡町村長会
- ◇ 県漁港協会総会
- ◇11・8 干ばつ対策共同事業申請説明会
- ◇11・9 3才児検診
- ◇ お多福豆喫約栽培講習会
- ◇ 文部省農業教育近代化促進指定発表会
- ◇11・10 納税優良組合表彰
- ◇11・11 県町村総会
- ◇11・13 青少協委員会
- ◇11・14 九州治水大会
- ◇11・15 港湾協会九州大会
- ◇11・17 青年の家研修会
- ◇11・20 明るく正しい選挙推進委員研修会
- ◇11・21 県国民年金大会
- ◇11・22 定例町議会

常日頃の政治的関心が必要

「明るく正しい選挙」は一人一人の自覚の上に立たねばならぬと思ひます。本日に政治に目覚める。時々聞く事ですが、「推進員になつていなければならない」と云われたり「分つていられない」と云われたり「分らない事だ」と頭から否定して居られる選挙が自分のものになっていないのではないかと、この会の存在の意義は何処にあるのか、唯だ目の前の事のみにて、私の上にプラスするか、又マイナスするかと云う事決定し、自から「明るく正しい選挙」を失つて行く

「明るく正しい選挙」は一人一人の自覚の上に立たねばならぬと思ひます。本日に政治に目覚める。時々聞く事ですが、「推進員になつていなければならない」と云われたり「分つていられない」と云われたり「分らない事だ」と頭から否定して居られる選挙が自分のものになっていないのではないかと、この会の存在の意義は何処にあるのか、唯だ目の前の事のみにて、私の上にプラスするか、又マイナスするかと云う事決定し、自から「明るく正しい選挙」を失つて行く



(晴れの表彰)

▼ささなみ▲

十一月十四、五日に、八代市で身心障害児判別と就学指導講習会があり、それを受講して深い感銘を受けた。暗い運命を背負つた一家中で悩ま苦しんでいる人たちのために、是非救いの手を差し伸べてやらなければならぬと痛感した。身心障害者は血縁結婚の場合に多く生れるが、一般の健全な両親からも精神薄弱児が生まれる可能性があるという。とすれば、これは決して一部の人のための問題でなく、すべての人が関心を持つて考えなければならぬことである。講習会で障害児の事例の発表を聞いたが、誠にかわいそうなお子もたちらである。色の区別のできない全色盲の子には美しい自然の景色も理解できないし、視野狭窄症といつて目の前だけしか見えず、すぐ横に車が通つても見えない子もいることである。又、中学生になつても、仮名でも満足に名前も書けない精神薄弱児もいる。この子らは、みな親の責任で障害児になつたのであり、子どもには何罪もないのである。憲法に「すべて国民は、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利がある」と定めていて、果して、精神薄弱等は、能力に応じた教育を受けているだろうか。現在の学校で教える教材は正常児を対象にして作られたものであり、精神薄弱の子どもたちには理解できない授業を受けさせられるのは、苦痛以外の何ものでもなからう。◎当町でも、近い将来に特殊学級がつくられるのであろうが、一日も早く設置されることを希望したい。特殊学級をつくる時まず問題になるのは、親の無理解だという。特殊学級に入れたら、見栄や外聞が悪いといつて子どもを特殊学級に入れたがらないことだといわれる。これは誤った愛情である。いづれ精神薄弱といえども親の死後は、社会で一人立ちしていかなければならぬ。その時のために一人立ちできる技能を身につけさせねばならぬ。◎ノーベル文学賞ももらったパール、バツクの一人娘も精神薄弱であった。彼女は、適切な教育の場を与えることが心の窓を開かせる、といつてい

長洲町名誉町民条例制定さる

社会文化向上の振興産業の高揚を図る

この名誉町民条例の制定は、条例の第一にその目的を明記されており、九月二十二日町議会において満場一致で議決公布されたものであり、この条例に該当する者が出現するに期待される。

長洲町名誉町民条例

第一条 この条例は社会文化の向上を促進し、自治振興産業の高揚を図ることを目的とする。

第二条 本町に居住し、若しくは居住したことがあるもので広く社会文化の向上を促進し、自治振興産業の発展に寄與し、

町民が郷土の誇りとして尊敬する者に対しては、この条例の規定により長洲町名誉町民の称号を贈ることが出来る。

第三条 名誉町民は町長が町議会の同意を得て選定する。

第四条 名誉町民の事績は、町公報で公示する。

第五条 名誉町民に対しては、町長の定めるところにより待遇及び特典を与へることが出来る。

第六条 名誉町民が本人の責に帰すべき行為により、著しく名誉を失ひ、町民の尊敬をうけなくなつたときは、町長は町議会の同意を得て名誉町民の称号を取り消すことができる。

第七条 この条例の施行に關して必要な事項は、町長が別に定める。

附則
この条例は公布の日から施行する。

長洲町名誉町民条例施行規則
第一条 この規則は、長洲町名誉町民条例の施行に關し、必要な事項を定めることを目的とする。

第二条 名誉町民に対しては、表彰状及び記念品を贈呈する。

第三条 名誉町民に対しては、次の待遇及び特典を与へることが出来る。

一、町の公の式典への参列
二、町の施設の使用に關する使用料、及び手数料の減免
三、本人の生活が、著しく困難の場合の便宜の供与、又は援護。
四、本人死亡の際における、弔慰金の贈与

附則
この規則は公布の日から施行する。

町の衛生向上をめざして

共同保健計画推進協議会が発足

会長に教育長、浮島三代喜氏

本町に共同保健計画推進協議会が発足した。

この共同保健計画の趣旨は、我々の町を取り巻く、主要機関

「ねえお父さん、誰に投票する？」

「また選挙か。誰でもいいよ。誰に入れたって、誰が当選したって同じことだ。」

「そんないい加減なことじゃだめだよ。オレたちの代表を選ぶんだ。もっと真剣に考えて、理想の人を……」

「理想の人？ そんな奴、いやしないよ。いや、わしもむかしは、お前がいうように、自分たちの代表にふさわしい理想の人を探がして、その人に投票した。しかし彼は当選すると、胸をさらし、自分の利益と地位だけを守ろうとする人間になつたわしの期待は裏切られた。」

「でもね、お父さん、それはやはり、お父さんの選び方が間違つてたんじゃないかな。野球にたとえらば、選球をあや

あなたのお考えは？

「いいや、わしの選球眼は、あやまつたらん……」

「でもね、王や長嶋だって、選球をあやまつて、アウトになることだってあるんだよ。」

「野球ならそれでも面白いさ。でも選球はちつとも面白くない。いい球だって、その球自

「ある父親と息子の会話から」

身が、フアラと途方もなく、わしらの手のとどかないところへ行つてしまふんだ。だから、わしは選球がきらいになつた。」

「選球がきらいになつた」とこのお父さんはいいます。相次いでおきた、黒い霧事件のような現実をみると、選挙

なり町の衛生向上を計り、去る八月三十一日モデル地区として指定をうけた。今回初会合の十月二十七日田中荒尾保健所長他七名田中保健課長補佐、中逸町長等出席で、会長に町教育長浮島三代喜氏が選任された。

なお、共同保健計画推進委員メンバーは次のとおり決定。

町議会議員
中山 正賢
城戸 主頼
教育委員 浮島三代喜
国保運営協議会委員本保人
民生委員 月田 彬
区駐在員 上田 浩
歯師及び歯科医師 用木温知
婦人会役員 和田あや子
青年団役員 永田 則人
小学校校長 小沢志津馬
中学校校長 浦部 健
農業協同組合役員 木村万寿
商工会役員 宮路 利行
漁業協同組合役員 西原藤市
助産婦 藤本 サダ
学識経験者 山村 正

視察記

少年刑務所

国家試験合格を目標に

罪を犯した少年達は施設の中で、どのような生活をしているのだろうか、自分の犯した罪のつらさ、来るべき社会復帰にそなへ、力強く生き抜いていけるだろうか。

十月五日午前八時三十分、更生保護婦人会、(BBS)佐賀少年刑務所を視察、出発に際して総責任者田宮保護司の挨拶後、保護司の日程説明があり、かつての研修旅行と違つた感じを味わ

秋日和の佐賀平野を走り目的の建物が見えた。貸切バスの停車と同時に目に写つたのは、青か空色か色別出来ない服を着て作業している姿、年にして二十才ぐらい、横で制服の警務員が指揮している、何かしらその情景は異様に感じた。赤レンガの長扉鉄柱の門「佐賀少年刑務所」だ。一切の手続きを保護司さんに頼み案内されるまゝに左右を見つめながら通る。土産に持って来た金魚とケースを贈る。傷ついた少年達に少しも安らぎを、と前日協議して決めたものであった。全員二階の講堂に案内され教務課長より、刑務所全般についての説明を聞く。少年犯が主で一般道交違反禁固

刑五十数名、合計して七百名余りと説明された。そして現在の設備では満員だと苦笑されていたのが考えさせられる。

説明が終了更生保護婦人会員を視察する。中心より前後左右に監房が並び、通路はコンクリートだ。いやに靴音が響くガツガツと重なる鉄の扉の音がきこえ、一つ一つの扉の姿は、午前の作業に出ているの事、どの部屋も整理され古びた夜具が重ねられ机が一つ、冷たい部屋のようだがそれに特異な臭い。監房を巡視する際に職業教育の実際を巡視視察、理容、木工、石工、機械工作、板金、電器工、その他決められた職種に懸命な働きぶりだ。おどろいたことは、一部職種に於いて国家試験に合格し技術者として来るべき生活に望みをかけ今は直に

開放感いっぱい

婦人刑務所

一日も早く社会復帰を

佐賀平野が尽きて、バスの窓に背振山がまはってきた。その山裾に閉まられるような静かな地形の中に婦人刑務所が思ひもかけず明るい雰囲気の中で迎えてくれた。

おおよそ刑務所といえはいかめしい扉と鉄の扉で外部と遮断された暗い所というところは常識であるが、この婦人刑務所はなんとも開放的で明るいことか。小じまりした郊外の小工場と小工員さんの姿と言った所。先づ同性としてはとつとしたものを感じた。

右手に起伏する広々とした附属の茶園はそのまゝ後の山に続いて扉らしいものは見当たらない。門を入る。丁度中食時の食堂の横を過ぎ、講堂で私共も持参の中餐をとり、所内一日の生活を記録したスライドを見た。

次々と係の方の説明を聞いて作業場をまわる。日華ゴム委託の地下足袋縫製。フォーム委託の製品加工。岐阜提灯作り等々各種の工場が学校の教室二三分位の広さ位で整然と並んでいる。浴場炊事場講堂食堂と附属の建物もちり一つなく誠に清潔。つま先上りになつた一段高い農場では係に指導されて作業にいらしてはいる人々も見えた。そこからはさつき茶園がよけい広く見える製茶の仕事がこゝでの重要な作業としてとり上げられるのも亦尤もとうなずか

服役している明るい話した。説明を聞きながら……働いている彼等を見ては……働いている労働者と一も変りない。唯この場には、悲しいかな自由がない、どの作業場も鉄の扉と、監視付だ。一巡して所内を出た時急に喉が詰る。数分後更生保護婦人会員も所内を出られた。どの顔も涙にぬれた感じ。少年達も聞かされた楽団演奏が何とも云えなかつた。自分達の息子が変りな年頃で可愛そうに講堂で聞かされた感謝の音楽に感激されたのだ。

一日も早く出所出来るよう努力して下さい。そして再び犯さないように頑張ってください。少年達をみて誰れも感じた気持だ。

そして、如何に防犯が重要であるかを深く味いさせられた。(宮野 八郎)

防火診断

パレード実施

秋季火災予防運動展開

十一月二十六日(十二月二日)迄全国一斉、秋季火災予防運動が実施されます。これからの火災多発期を迎えるにあたり火災から家庭を守るため、火災予防を町民に呼びかけ、町民一般の警火心を高め、火災予防体制を強化充実するため、家庭防

国立阿蘇青年の家研修記

昭和四十二年十月八日は本町中央婦人学級生希望の国立阿蘇青年の家研修の日である。

研修のすがすがしい朝に研修生七十余名を乗せた貸切りバスは途中にぎにぎしく各校区毎の歌くらべ等をのせながら目的地阿蘇に着く。国立阿蘇青年の家前の雄大な草原に腰をおろし、グループで弁当を開く、全くうきうきとした心持だ。

十三時入所、オリエンテーションを終り、いよいよ翌九日までの研修が始まる。青年の家の規則に従い、行動することになり、各自の部屋が決まり、夕食迄スポーツの時間、バドミントン、卓球、バスケット、バレーに球を追ってにぎやかなこと、とても子供のある主婦とは思えない。

心しよう

「自分さえよければ……」の気持

中央婦人学級生

み三五五話に興じたり写真も撮つたりした、早朝の講義、日銀熊本支店営業課長、阪井良造先生「地域婦人と経済」に聞き入り笑つたり、感心したりで瞬間に泊二日の研修で充実した生活プログラムに終始した青年の家と別れる時間になり、帰路、山なみハイウェイのドライブを楽しみ、高木原へ遊ぶ。

天気晴朗、見渡す限り草原の連なり、放牧の牛馬が群が、のどかな景色、こんな所で暮らしたら十年位長生きするんじゃないだろうかと思つた。何物にもかまわず、しあわせをしまじみと感ずる。

最後に一つ残念に思う事は、バスの座席について、一人一人が申し分ないような譲り合いの気持があるのに団体行動の時ばかりは他人の足踏みに……とは、心ければ人のシミになつたことは残念であった。

(中島 幸子)

共同募金 歳末たすけあい運動

恵まれぬ方に愛の手を

善意の金は青少年育成資金等

共同募金運動も二十周年の祝いもすんで、この運動もいよいよ成人になったと言ふことができましよう。

今年度に入って新聞紙上で「裏切られた善意」等といろいろな批判が行われているようでありますが、全国二百万人の奉仕者の善意によって支えられているこの運動は、日本の現在の社会にはなくてはならぬ事業であることは、誰人も否定できないこととありましよう。

今更共同募金の趣旨説明も必要でないとは考えますが、世の中にはずい分と国や社会の援助を必要とする人達が多いのでありまして、身体に障害のある人、精神薄弱児、主人を失った母子、両親のない子供、扶養する者のない老人、生活困窮の人、医療費のない病者が、全国には数多く存在しております。

又私達の住んでいる町の中を歩いてみますと、子供の事故や青少年非行の防止、老人クラブや子供会の育成、子供の遊び場心配と相談、街の美化、住民の保健衛生等の諸問題で、地域社会の中で解決すべき問題も、これ又数多く存在しております。町の行政面で取組まねばなら

郷土の遺蹟を訪ねて

尺八の日本一吉田晴風

晴風の少年時代

尺八の芸一筋に生き、遂に日本一の名人となつて、郷土の名譽のため貢献した人、それは吉田晴風である。

彼は長洲町上松原町八八〇番地に生れた。時は明治二十三年であった。彼の生家は、今でもそのまゝ残っており、現在、晴風と一緒にその家で成長された従弟の宮原正蔵氏(七十四才)が住んでおられ、製鉛業をしていられる。

晴風の家は、祖父の代は造り酒屋であったが、事業に失敗したので、父はその後をうけ菓子製造業に転じた。最初は随分経営に苦労したが、商売熱心な父は真白い鉛の製造を考案し、後にそれが太白鉛として長洲町の名物にまでなつた。当時の長洲町には三名物があったと晴風の隨筆に書いてある。それは太白鉛に海中人力車とアミ漬であつた。



(故吉田晴風氏)

晴風は幼名を康次といつた。康次は父寅男、母ますの間に生れた次男で、五人兄弟であつた。兄時次、兄富蔵はそれぞれ二才位で亡くなり、姉つは今でも健在で、大塚氏に嫁し大阪に住んでいられるという。妹せつは五才で若くして亡くなつてい

ない問題であり、が、住民の間からの盛り上がりとして、住民の力で解決を推進しようとする一つの運動として在るが、町の社会福祉協議会であり、この町の社会福祉協議会に對しては、この町で集められた共同募金額の三五%が地域社会福祉事業費として本部より配分が行われます。長洲町では毎年町内各地の駐在員、及び婦人会の協力によって募金を行なつておりますが、長洲町社会福祉協議会では本部より交付された三五%の地域福祉事業費の全額を区域の子供会や老人クラブの援助及び婦人会に對して配分して遊び場の設置、敬老会や栄養改善講座等の開催の費用として有効に使用して頂いております。本年度は十月月上旬に募金打ち及び婦人会幹部の共同募金打ち会を開き、例年のとおり各戸を訪問して募金することになりま

タバコは郷土の店で 大きな財源を確保

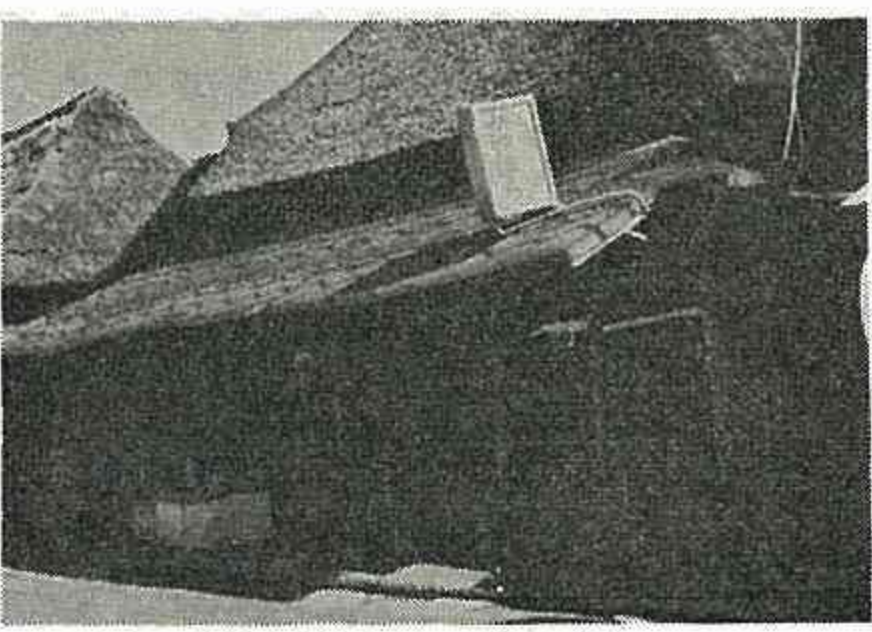
私達が毎日使っている「タバコ」の代金は一体どこにどのように使われているのでしょうか。大部分は専売益金として日専公社を経由し、また一部は町の財政収入となつていま

婦人会役員研修会

翌年一月下旬開催

切実なテーマの三分科会
一、趣旨地域婦人の前における色々な問題や、今までの活動をふり返つて研究し討議して今後の方向づけと発展を図る
二、主催 長洲町婦人会
三、日時 場所 一月下旬 中央公民館
四、参加者 各校役員約80名

その後はわかないというが、一方康次の家では、康次がなくなったというので大騒ぎをし、町中総がかりで探すことになつた。きつと康次は狸か狐に化かされてつれていかれたのだらうといふことになり、鍋や金だらうや太鼓など叩いて「もどせ、かえせ」と呼びながら、ドンドンガンと廻つて歩いた。その頃、康次は鎮守様で眠つていて、その折よく通りかかつた康次の家に鉛の仕入れに来る爺さんに見つかった。



(晴風の生家)

康次が十才の頃、近所の真さんが吹く尺八の音がすきで、滑石に広瀬という親戚の素封家があつた。その三男で早稲田大学に習つてゐる人が立派な尺八で東京で習つた「黒髪」

無関心な人の学習参加を求めめるには
第三分科会
明日の設計を遅らせているのは
記念講演 柿村 峻先生(熊女大)
あなたも 産業開発青年隊へ 行ってみませんか?
県では、地域産業開発に必要な建設現場第一線の中堅技能者を養成するため、産業開発青年隊員訓練所を設置し、一ヶ年間隊員の集団訓練により、有為な青年を養成する一方、土木施工測量、建設機械の運転整備などの技術を習得させ、隊員を建設業界、その他団体、公社に就職させ好評を得又期待されております。

自衛官募集中

18才~25才
若人よ来たれ!!
初任給 一五、一〇〇円
賞与 年三回
衣食住は無料
この充実した生活!!
―受付は長洲町役場総務課へ―

成人者作文募集

昭和二十二年四月二日(翌二十三年四月一日)生まれた方の成朝は五時から夜は十二時過ぎまで尺八の修業を毎日熱心に続け

康次が朝鮮滞在中ふとしたことと知り合つたのが、当時二十才の青白い顔の小柄な無名の青年検校宮城道雄であつた。上京した康次は、三年後宮城道雄を東京に呼び、三曲合奏をして、その名を益々あがり、遂に、尺八日本一の名人になつた。康次は晴風と名を改め、二十七年の時、山田流箏曲の名手熊谷京子と結婚した。

踏切で車がエンコしたら まず列車をとめる!!

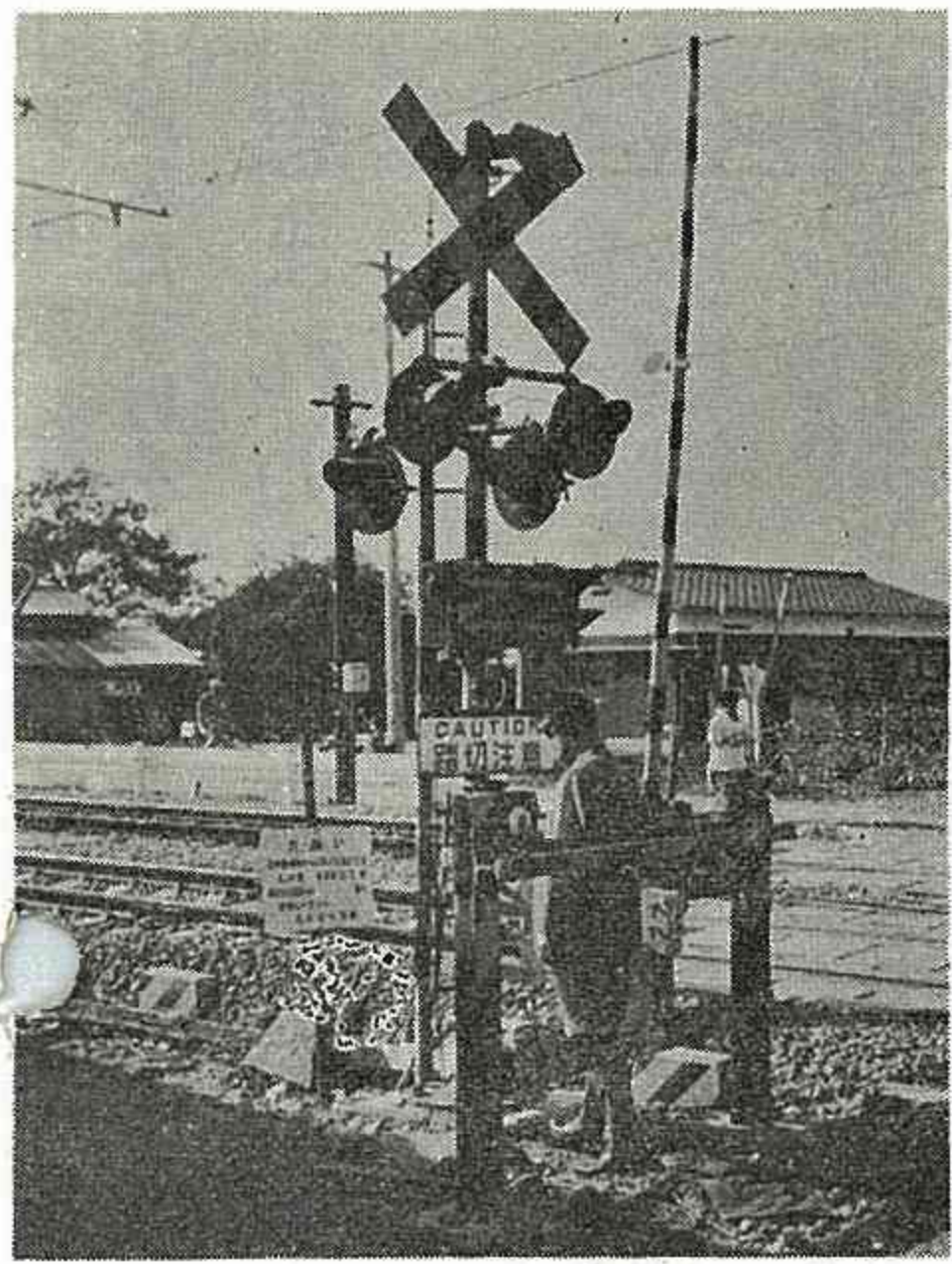
国鉄が複雑化されて、踏切事故が多くなっている。大牟田でも事故があったし、近くは、牛水や出町の踏切でも人命にかかわる事故があった。私たちは踏切事故を起さないように、次のことを是非知っておきたい。

①踏切で車がエンコした時
まず列車をとめることを考えるべきである。新山や出町踏切のように自動遮断機つきのもので、自動踏切には非常ボタンが写真のように押えているので、ボタンを押せば、停止信号になって発せられるが、列車は停車して事故を未然に防止することができない。非常ボタンのない他の踏切では、車に発せられる赤旗の踏切では、それと信号するようには是非お願いしたい。発せられる赤旗は、一本三二〇円で、長洲駅に申し込めばいつでもとってくださる。又、赤旗も車に常備しておきたい。信号する時は、まず一本の発せられる火をつけて見通しをよくしてから、もう一本の発せられる火をつけて、赤旗も持って見通しの悪い方に走ればよい。

②踏切で車が遮断機にはさまれた時
車が踏切に進入して、遮断機が降り、はさまれた場合は、遮断機を折って突破してもよい。事故を未然にするためやめたことは損害賠償はしなくてもよい。

③事故防止のため列車をとめても、損害賠償はとられぬ
よく、列車を一分間止めれば何万円かの損害賠償をとられるといわれている。それで踏切で車がエンコした時、列車を止めれば、何十万円かの莫大な損害賠償を取られるから、無理して車を動かさずとして、時機を失し、列車も車も、或は、人命にかかわる大事故になってしまふ傾向があった。しかし、現在は、事故防止のために列車を止めたのなら、どれほど長く賠償をとられることはないこと、損害賠償をとられることはないことを知ってほしい。

長洲町の踏切では、出町や塩屋の踏切のように登り坂になっている条件の悪い踏切があり、車がエンコを起しやすいので、是非、事故防止のため以上のことを運転者の人は知って遵守してほしい。



先の国会に成立した住民基本台帳法が去る七月二十五日に公布され、この十一月十日から施行されました。これに伴い、いままでの住民登録法は廃止されました。

この法律は市町村の住民の住所に関する届出の簡素化を図るため住民に関する記録を正確かつ統一的行ない、あわせて国及び地方公共団体の行政の合理化に資することを、その主な目的としております。この法によりまして、住民の住所の変更について、いままで住民登録、国民健康保険、国民年金、米穀の配給、選挙管理委員会等と別々に

『住民基本台帳法が施行されました』

皆さん!! 十一月一日から

世帯変更の届出について
一、他の市町村から転入される方は十四日以内に転入届を町民課窓口へ提出して下さい。その時、持参するもの
1. 転出証明書
2. 国民健康保険証
3. 国民年金手帳
4. 米穀配給手帳
5. 区長証明
6. 印鑑

一、他の市町村へ転出される方は、その当日までに転出届を提出して下さい。その時持参するもの
1. 国民健康保険証
2. 国民年金手帳
3. 米穀配給手帳
4. 区長証明
5. 印鑑

その他転居、世帯変更届も右に準じます。

町の美談

新山の島津茂男氏 スピード距離感を モットーに



風雨間 島津茂男氏
わす一人の子も我が子も同じにかわいいと

交通指導に張り切る
同氏はつい先日、自分でバイクを運転して、子供供から側面より激突、転倒させられ幸にしてケガはなかったが、これを契機に子供に交通ルールを少しでも理解させ、車と歩行者のスピード距離感を納得させようとして勤務前(大牟田運送勤務)長洲新町四ツ角に立ち上り、非常にテレくさく片隅にかくれかたかった。しかし、実際歩行者、車の往来をみてみると無意識的に道路にでて子どもを引っこめるようになった。

今は子ども達もなじみ深くなり登下校の際、又通勤者の方の「おはようございます」苦勞苦勞までその一言が言葉で表現できない程うれし。

「社会の空気を吸う以上、自分で出来る事をやって社会奉仕に準じます。」

冬の健康管理

冬の訪れと共に寒さも一段と増して参りますが、今回は冬の健康管理として「高血圧」及び「かぜ」についての注意を述べたいと思います。

「かぜ」と云っても普通の風邪から流感(インフルエンザ)迄、その病状も軽重まちまちですが予防法はどれも変わりないと思えます。昔から風邪は万病の基」とはよく云はれる言葉ですが、実際「風邪が」と簡単に考え放置して大病を引き起こす事稀ではありません。予防には日常充分気を付けたいものです。

「かぜ」はウイルスによって起される伝染病ですが、先づ、普段から身体を鍛錬しておくことが当然ではなからうか」と言われる。

又夜勤の際は、会社に早退願いを提出して許可を得、新町四ツ角に立ち上り、その目的遂行につとめています。

特に本月は課題の一つである交通安全運動の推進に重点をおき、活動態勢を徐々に整えています。

「かぜ」は大病を招く

「高血圧」は冷水使用禁止

「かぜ」はウイルスによって起される伝染病ですが、先づ、普段から身体を鍛錬しておくことが当然ではなからうか」と言われる。

又夜勤の際は、会社に早退願いを提出して許可を得、新町四ツ角に立ち上り、その目的遂行につとめています。

特に本月は課題の一つである交通安全運動の推進に重点をおき、活動態勢を徐々に整えています。

狭い道路から広い道路へ抜ける場合の不注意。
交差点での安全確認無視。
自転車の横列運転。
自転車の二人乗り。
交通安全の認識不足を一掃するため、今後、保護者の皆さんのご協力をお願いいたします。(長洲町子育て)

子供の事故防止は親の理解と協力を

長洲町子ども会育成連絡協議会(略称子育て連)では、毎月、長洲町総合社会教育推進協議会で打ち出した、重点課題の実践事項について検討し、全世帯人の協力により、その目的遂行につとめています。

特に本月は課題の一つである交通安全運動の推進に重点をおき、活動態勢を徐々に整えています。

法務大臣委嘱 人権擁護委員に

長洲町の人権擁護委員は、今口 優氏(西荒神) 関 保久氏(宮崎) の二人です。

皆さん御承知と思いますが、人権擁護委員は、法務大臣の委嘱でありましてその職務は左の通りです。

1. 自由人権思想に関する啓蒙及び宣伝をなすこと。
2. 民間における人権擁護運動の助長に努めること。
3. 人権侵害事件につき、その救済のため調査及び情報収集をなし、法務省人権擁護局への報告、関係機関への勧告等適切な処置を講ずること。
4. その他人権の擁護に努めること。

今口・関両氏 関 保久氏(宮崎)

「費用は一切かかりません」
「費用は一切かかりません」
「費用は一切かかりません」

「ご存知ですか?」 検察審査会を

検察審査会は検察官の不起訴処分や検察官の事務全般について改善すべき点があれば是正するよう検察官の長たる検事正に意見を述べ、交通事など詐欺、おどし、交通事などの被害にあつて警察官がそ

めざましい体力の進歩

スポーツ少年団は、スポーツを愛好する少年少女がスポーツを中心としてその他の諸活動を合せて計画的に、継続的に行なうために組織した団体で特に二回のスポーツテストを実施するように義務づけられている。

本町ではこれら少年と希望中學生を対象に十月二十九日に長洲小学校と児童館講堂に於て第二回目の体力診断と運動能力テストを行なったが前回に比し進歩の進歩の後が見られた。その結果は次の通り

十二月いっぱい

町税滞納一掃月間
本年も余すところあと一ヶ月あまりで新年を迎えようとしております。当町税務課も十二月一日から一ヶ月間は滞納一掃月間として町税の徴収に滞納者家庭を訪問し納入方をお願いいたします。町税は町財政の基盤です。悪質と思われる滞納者には、どしどし強制執行もいたしますのでご協力方を切にお願いいたします。又この月間は納税についての相談又は税に対しておたずねになりたいことがありましたらこの機会に是非おたずね下さい。

青色申告のおすゝめ

既に御承知のことと存じますが、今年度の税法改正によって、四十三年分からは青色専従者給与の限度額がなくなり、小規模事業者の方(四十一年分の事業専従者控除前の所得が七十万円以下の人)は、現金主義による簡単な方法が認められ、帳簿も一冊でよいように改正され、青色申告されるかたにとってたいへん便利になりました。

署では新しく青色申告をされるかたのために、手続や帳簿のつけかたや決算の仕方等について「青色申告指導係」が常時ご相談に応じております。玉名税務署

検察審査会を

検察審査会は検察官の不起訴処分や検察官の事務全般について改善すべき点があれば是正するよう検察官の長たる検事正に意見を述べ、交通事など詐欺、おどし、交通事などの被害にあつて警察官がそ

性別	年齢	参加者数
男	四級	九名
	三級	三十一名
	二級	四名
	一級	三名
	合計	四十七名
女	四級	九名
	三級	三十一名
	二級	四名
	一級	三名
	合計	四十七名